

ぎかいだより

はじめての議場コンサート

(12月1日)



12月1日、本会議開会前の約30分間、市文化協会所属の「箏・樹陽会 コンサート部門」のみなさんによる議場コンサートを市議会ですべて初めて実施しました。箏や三味線の演奏により「近江八景」など3曲が披露されました。

平成29年第4回定例会 11月29日～12月13日

NO. 47

H29年度補正予算ほか	P 2
常任委員会審査報告	P 6
市政をたず 一般質問	P 8
行政視察調査報告	P12
かんぴょう生産者と懇談しました	P15

平成30年2月15日発行
発行：栃木県下野市議会
編集：議会だより編集委員会
ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>
E-mail：gikai@city.shimotsuke.lg.jp
しもつけ市議会だよりは市ホームページでもご覧いただけます

下野市 市議会 



平成29年第4回定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で開催されました。市長提案により、専決処分の承認1件、29年度補正予算案3件、条例の一部改正案4件、及びその他の議案7件の計15件が提出され、すべて原案のとおり可決（承認）されました。

また、議会活性化特別委員会の最終報告を行い全会一致で了承されました。

ほか、請願1件を審査し、趣旨採択となりました。

一般質問では7人の議員が市の対応や考え方を問いました。

■平成29年度各会計補正予算

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一般会計	第4号(専決処分の承認)	2852万6
	第5号	1億4149万2
特別会計	介護保険	261万6
	仁良川地区土地区画整理事業	1160万0
		243億4249万7
		43億0892万9
		7億2679万1

一般会計は、衆議院議員選挙に伴う専決処分を含め歳入・歳出にそれぞれ1億7001万8千円を増額し、予算総額を243億4249万7千円としました。

一般会計補正予算

1億7001万円追加

総額243億4249万円

地方創生推進事業

977万4千円

移住定住促進プロジェクトとして、飛鳥時代の歴史上の人物「しもつけのこまろ下野古麻呂」と瓜田瑠璃うりたのるりが登場するアニメーション「サクラノチカイ」を作成しました。これを活用してオリジナルグッズを作成しPR活動を実施します。



宮前堰改修事業

2609万2千円

平成30年度に予定されていた姿川の宮前堰改修の早期着工に向け、費用の一部を前倒して計上しました。

指定管理者の指定

■下野市保健福祉センター ゆうゆう館

■三王山ふれあい公園

サービスの向上と管理運営の効率化のため、指定管理者制度を導入します。

指定管理者は、社会福祉法人下野市社会福祉協議会です。

指定期間は平成30年4月1日～33年3月31日までの3年間です。

一部オーブン（キャンプ場とドッグラン）していた三王山公園は、今年度全面完成することから、指定管理者を導入します。

指定管理者は、株式会社道の駅しもつけです。指定期間は平成30年4月1日から3年間です。

そのほか、指定管理者の指定を議決した施設



- ふれあい館
- グリムの森・グリムの館
- 市内コミュニティセンター(9施設)

条例

都市公園条例の一部改正

蔓巻公園、三王山ふれあい公園、グリムの館及び都市公園の施設使用料の一部を改正します。

蔓巻公園 三王山ふれあい公園

三王山ふれあい公園が3月にフルオープンすることに伴い、両公園のオートキャンプ場使用料を変更しました。

■オートキャンプ場の使用料 (蔓巻公園・三王山ふれあい公園)

改正後(税抜)		改正前(税抜)	
区分	使用料	区分	使用料
11時～16時	2,000円	10時～15時	1,000円
16時～21時	2,000円	16時～22時	1,000円
11時～翌日10時	6,000円	22時～翌日9時	1,000円
16時～翌日10時	4,000円		

※三王山ふれあい公園は一般サイトの料金です。

グリムの館 夜明け前

施設増設や改装に伴い、売店・飲食店の運営事業者から徴収する使用料を定めました。また、グリムの館については、控室が2室増加したため、それらの使用料を新たに設けました。

グリムの館に新設された控室2室の使用料(入場料無料で営利・宣伝の目的でないイベントで使用する場合の例)

■控室2 (税抜)	
利用時間	使用料
9時～13時	600円
13時～17時	600円
17時～22時	720円
■控室3 (税抜)	
利用時間	使用料
9時～13時	420円
13時～17時	420円
17時～22時	500円



グリムの館

総括質疑

衆議院議員選挙費

問 国政選挙費用は国庫支出金で全額賄われるのが原則と理解しているが、今回も791万円の不足額が生じた大きな要因は何か。

答 補正予算の歳入では国の基準に則り、歳出では多めに計上したが、不足した。今後実績に基づき決定されるが、全額国費にはならないだろう。備品購入については、市議選など他の選挙でも使うので、その分按分(減額)される。
問 期日前投票バス運行の利用状況はどうか。
答 周知はどのように実施したのか。

答 2日間、各日とも8コース運行し、12名が利用した。急な選挙であり、新聞折り込みなどで周知したが、十分ではなかったと考えている。次の選挙までに、利用者がふえるよう、周知活動や巡回バス停留所などについて検討する。

ゆうゆう館

問 指定管理にすることでどのようなことが期待できるのか。

答 社会福祉協議会からは、夏場の朝風呂やシヨウブ湯など季節風呂の実施、また、各種団体と連携して所有バスでの送迎つきセットプランの実施、介護福祉用具や障害者就労支援施設の商品の展示販売コーナーを設置することなどが提案されており、来館者の増加及び地域福祉事業の拡充が図られるものと期待している。
※障害者就労支援施設で作製された商品



ゆうゆう館

都市公園条例の改正

問 グリムの館の売店及び飲食店施設使用料は「売上高の3%以上10%以下において市長が定める額及び光熱水費の実費」となっているが、売上高の割合に幅を持たせた意図は。

答 使用料の設定では定額のものとして売上高に一定割合を乗じるものがあるが、グリムの館は時期や季節により入園者数に変動があり、定額使用料では入園者数が少ない時期に運営事業者の負担が大きくなるのが想定される。また、運営事業者の運営意識を高めるためにも、売上高に一定割合を乗じる方法が適正と考えた。

割合については、売上高の約10%以内が一般的であり、県内他市でも10%を上限にしている。お菓子の家が新規の施設であり、今後売上高に変動が生じた場合でも対応できるように、近隣の事例を参考に割合に幅を持たせた。

日光道中の一部赤道（※）の市道化による

歴史文化財としての利活用を求める請願

請願の趣旨

歴史文化財として貴重な日光道中（旧日光街道）が、一部赤道となり雑木林化して忘れ去られようとしている。市は、この赤道の整備や下石橋一里塚の保護に取り組み、文化財・観光資源として利活用を図るとともに後世に残す責任があり、次の対策を講じるよう求める。

①旧日光道中の赤道となつて
いる箇所を市道に認定し、
遊歩道として整備・管理
する。

②下石橋一里塚の調査と保護
を早急に進め、小金井一里
塚との間を實際に歩くこ
とができる 体感型文化財
とする。

紹介議員

石田陽一議員
村尾光子議員

委員会審査の経緯

付託された教育福祉常任委員会では、委員から、「趣旨には賛同するものの、現在、東の飛鳥プロモーション事業として下野薬師寺跡や国分寺跡、国分尼寺跡を整備し、歴史資産として保存活用すべく事業を進めているところであり、今すぐにとつては厳しい」「赤道は昔の面影を留めていないため、人が通れるようにして立て札を立てるなどの整備

備は必要と思うが、ほかの事

業との関係で将来的な課題と
思われる」「事業の実施に当
たり、どれだけ予算と年月
がかかるかわからない。今、
採択することは難しい」など
の意見が出されました。

委員会表決の結果

趣旨採択



討論

定例会最終日の本会議では、常任委員長の審査報告
後に2人の議員が壇上に立ち、討論しました。

村尾光子議員

採択すべき

紹介議員になるに当たり現地を確認し、かなり荒れ果てた状況であると確認した。今後、歴史文化財を活用したまちづくりや、交流人口をふやし市の活性化を進めるためには現況のまま史跡を放置し活用しないのはいかなるものか。

すでに民間旅行者による日光街道を歩くツアーが開催され、市内飲食店やグリムの館に足を運んでおり、経済効果も期待できる。遊歩道の整備などによりこの史跡の観光資源としての活用がより一層拡大することを願う。

高山利夫議員

趣旨採択すべき

下石橋一里塚は市歴史文化基本構想において保存活用方法が明記されており、その内容には賛同しているが、交付税優遇措置が段階的に縮減されている今、限られた予算でしっかりと計画の実現に向け、取り組むべきである。

請願の趣旨には賛同できるが、現在、市は文化庁に選ばれた東の飛鳥プロモーションという大きな事業に取り組んでおり、日光道中の調査と保護を早急に進めることについては難しい状況にある。

本会議表決の結果

趣旨採択

(賛成多数)

※赤道(あかみち)……国道や県道・市道などと異なり、道路法の適用がない公共用の道(財産)。

第4回定例会 会期日程

11月29日	本会議(開会) (議案の説明、一部表決)
11月30日	本会議 (一般質問)
12月1日	本会議 (一般質問)
4日	本会議 (議案の質疑、委員会付託)
5・8日	経済建設常任委員会 (付託案件審査)
6日	総務常任委員会 (付託案件審査)
7日	教育福祉常任委員会 (付託案件審査)
13日	本会議(閉会) (委員長報告、表決)

※今定例会の傍聴者数
(議場コンサート含む)
32名(延べ)

第4回定例会の審議結果

議案等番号	付議事件	賛成	反対	結果	主な内容
承認5号	専決処分の承認(平成29年度一般会計補正予算第4号)	17	0	承認	10月22日に執行された衆議院議員選挙に係る費用2,852万6千円の追加補正を専決処分。
議案63号	平成29年度一般会計補正予算(第5号)	17	0	可決	市道1-3号線の舗装修繕工事費など1億4149万2千円の増。
議案64号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	17	0	可決	通所型介護予防事業の負担金追加など261万6千円の増。
議案65号	平成29年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	17	0	可決	物件移転などの補償費の追加に1,160万円の増。
議案66号	市税条例及び市都市計画税条例の一部改正	17	0	可決	固定資産税、都市計画税における課税標準の特例(通称わがまち特例)の対象を追加。
議案67号	国民健康保険財政調整基金条例の一部改正	17	0	可決	国民健康保険法の改正に伴い、財政調整基金の財源を充当できる支出科目を変更。
議案68号	道路占用料徴収条例の一部改正	17	0	可決	固定資産税評価額の評価替え等に伴い道路占用料の額を改定。
議案69号	都市公園条例の一部改正	17	0	可決	蔓巻公園、三王山ふれあい公園、グリムの館及び都市公園の施設使用料を一部改定。
議案70号	コミュニティセンターにおける指定管理者の指定	17	0	可決	市内16カ所あるコミュニティセンターのうち、9カ所について指定管理者を指定。
議案71号	保健福祉センターゆうゆう館における指定管理者の指定	17	0	可決	社会福祉法人下野市社会福祉協議会をゆうゆう館の指定管理者に指定。
議案72号	ふれあい館における指定管理者の指定	17	0	可決	株式会社道の駅しもつけを引き続きふれあい館の指定管理者に指定。
議案73号	市民農園における指定管理者の指定	17	0	可決	公益財団法人下野市農業公社を引き続き市民農園の指定管理者に指定。
議案74号	農村レストランにおける指定管理者の指定	17	0	可決	「レストハウスしもつけ」について、レストハウスしもつけ管理組合を引き続き指定管理者に指定。
議案75号	三王山ふれあい公園における指定管理者の指定	17	0	可決	株式会社道の駅しもつけを三王山ふれあい公園の指定管理者に指定。
議案76号	グリムの森・グリムの館における指定管理者の指定	17	0	可決	一般財団法人グリムの里いしばしを引き続きグリムの森及びグリムの館の指定管理者に指定。
請願1号	日光道中の一部赤道の市道化による歴史文化財としての利活用を求める請願を趣旨採択する議決	14	3	趣旨採択	市内の日光道中(旧日光街道)跡や下石橋一里塚の保護・利活用に取り組むよう求める請願に対し、趣旨採択すべきものと決定。

議会に報告があったもの(表決はありません)

議案等番号	案件名	内容
報告12号	専決処分の報告	市道(JR小金井駅東西自由通路)での事故に係る損害賠償額51万3,370円の決定及び和解。
報告13号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償額2万3,596円の決定及び和解。

表決が分かれた議案の議員賛否状況

議案等番号	付議事件	出	中	柳	大	高	石	小	須	秋	塚	若	野	高	岩	磯	松	岡	村
議案等番号	付議事件	芳	節	太	昌	芳	陽	晴	勇	幸	良	稔	善	利	博	香	賢	鉄	光
請願1号	日光道中の一部赤道の市道化による歴史文化財としての利活用を求める請願を趣旨採択する議決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	●

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 (議長は表決に加わらない)

審議結果

常任委員会報告

定例会で委員会付託された議案等について、各常任委員会の審査状況を報告いたします。

総務 地方創生推進事業 (29年度一般会計補正予算)

地方創生推進事業の追加分は何かを伺う。

問 今回の補正は、アニメーションのPRや活用のためのものである。ブルーレイディスクの作成に約350万円、そのほか、スタンプリリーの費用として約140万円、アニメ関連のオリジナルグッズの作成経費として約210万円、アニメのPR費用に230万円程度を予定している。

答 今回の補正は、アニメーションのPRや活用のためのものである。ブルーレイディスクの作成に約350万円、そのほか、スタンプリリーの費用として約140万円、アニメ関連のオリジナルグッズの作成経費として約210万円、アニメのPR費用に230万円程度を予定している。

総務 地方創生推進交付金 (29年度一般会計補正予算)

問 地方創生推進交付金175万9千円の交付対象事業は何か。歳出での財源内訳では135万9千円と40万円少ない。

答 アニメーション活用事業に148万7千円、※ツール・ド・とちぎに27万1千円である。当初、ツール・ド・とちぎには県わがまち未来創造事業補助金40万円を見込んでいたが、地方創生推進交付金に切り替わったため、減額となった。

総務 地域決定型地方税特例措置(わがまち特例) (市税及び都市計画税の一部改正)

問 保育事業や市民緑地に関して、固定資産税等の税率軽減措置が講じられるが、適用対象となる件数の見込みはどのくらいか。

答 現在のところ対象となるものはない。申請はまだないが、下古山に建てられた企業主導型保育園が対象となると想定している。

経建 電動アシスト付き自転車 (29年度一般会計補正予算)

問 観光振興事業の機器器具購入費(250万円)で何を購入するのか。

答 デステイネーションキャンペーンの補助金(100万円)を活用して電動アシスト付き自転車20台の購入を予定している。どこに配置するのか。

答 オアシスポップ館、自治医大駅、石橋駅、夜明け前、三王山ふれあい公園に置く予定である。

経建 自治医大駅東口バリアフリー事業 (29年度一般会計補正予算)

問 事業の概略、場所、着工、完了予定は。

答 自治医大駅東口広場と、市道7002号線(足利銀行の交差点から北、自治医大に向かう道)のバリアフリー整備である。29〜30年度で縦横断測量及び実施設計を行い、31年度に工事着手の予定。補助金の確保を考慮し、2〜3年の継続事業で工事を行う。

経建 公園の売店・飲食店の使用料 (都市公園条例の一部改正)

問 売店・飲食店の使用料を月額売上高の3%以上10%以下において市長が定める額ということだが、なぜその基準としたのか。

答 県内市町では売上高に一定の割合を乗じるケースと定額で定めるケースがあったが、古民家カフェの運営状況を勘案し、初年度を5%とし、変動できるよう幅を持たせた。

※ツール・ド・とちぎ 平成28〜29年度の2年をかけて行われる国際サイクルロードレース。県内全ての市町を通過します。下野市には平成30年3月25日(日)に、道の駅しもつけや三王山ふれあい公園を選手が通る予定です。

福祉 教育

子どもの学習支援事業

(29年度一般会計補正予算)

問

委託料54万円が追加計上されているが、委託先とその実績を伺う。

答

委託先はNPO法人ポポの樹である。今年度立ち上げた団体でまだ実績はないが、元学校教員や医師等で構成される組織であり、教育環境はかなり充実している。

福祉 教育

グリムの館の売店及び飲食店施設 使用料 (都市公園条例の一部改正)

問

売上高の3%以上10%以下において市長が定める額とあり、かなり変動の幅があると思うが、どのくらいのパーセンテージを予定しているのか。

答

運営事業者については、財団法人グリムの里いしばしの選定委員会を経て市が決定するが、その中で財団と市で協議しながら具体的な率を決定したい。

福祉 教育

ゆうゆう館の指定管理者の指定

問

指定管理後のふれあいホールの管理運営について伺う。

答

ゆうゆう振興会という団体にレストランや売店、大広間を含め年額270万円の使用料で貸し出しており、今後は指定管理者が管理運営をしていくことになるが、最良の管理運営ができるよう打ち合わせをしながら決定していきたい。

意見交換を行いました

総務常任委員会

市民からの要望や、先に先進地として視察した富山県射水市と栃木県鹿沼市の例を踏まえ、12月6日、付託議案審査の後に、所管事項の地域公共交通及び非常備消防について、担当部署と意見交換を行いました。執行部からは30・31年度の次期委託契約に向けて準

備を進めている、将来的には近隣の自治体と共にJR駅を起点とした停留所付きコミュニティバスの運行などを模索している等の説明がありました。

委員からは、デマンドバスと定時運行のコミュニティバスの併用などを提案しました。

教育福祉常任委員会

6月に開催した障がい者団体との懇談会で得たご意見、また、10月に障がい者福祉施策の先進地である掛川市への行政視察の例をふまえ、12月7日に担当部署と意見交換を行いました。障がいのある方の移動手段、また、施設整備における課題などについて意見を述べました。



鹿沼市を視察した総務常任委員会 (10月)



障がい者団体代表者と懇談した教育福祉常任委員会 (6月)

市政をたたす

一般質問

第4回定例会では、7人の議員が市政に対し、一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

中村節子 議員



問 防災士は災害時の「自助」「共助」を考

える上で欠かせない地域の防災リーダーである。現在、下野市には何人の防災士がいるか。市との協働はできているか。

答 市長 30人である。協働はまだ具体的にないが、今後活動のき

問 防災士の資格取得のための助成をできないか

答 自主防災組織・自治会の推薦を受ければ助成

つかけを提供し、自主防災組織や自治会と防災士の連携強化を図っていき

たい。また、協力の同意が得られれば、防災士の名簿を公表し防災士同士の連携を図り、自主防災組織活動を始めるきっかけづくりとして取り組んでいく。

問 防災士の資格取得にかかる費用は約

6万1千円である。市で助成できないか。

答 市長 自主防災組織や自治会からの推薦を得た方に対して、

今後、費用の助成を実施していく。また、消防団員、消防職員、警察職員とその退職者には資格取得に対する特例がある。

この方々に資格取得を働きかけ、防災士を増やし

ていきたい。資格取得後は、具体的な活動計画を作成するなど、防災士による地域防災力の向上に努めていく。



防災士教本

ほかにも・・・

問 ふれあい館・きらら館・ゆうゆう館の利用状況は。
答 3館とも利用者は増加している。



マスクで感染予防する子どもたち

塚原良子議員



問 子どものインフルエンザワクチン接種に助成を

答 来年度実施に向けて取り組んでいく

問 子どもたちへのインフルエンザワクチンの接種助成、本市はまだである。接種については「重症化を抑える効果はあるが、感染予防に関してはその年の流行の型と一致しなければ効力はない」との世界保健機関(WHO)の見解がある。

答 市長 本市は27年度にロタワクチンと、おたふくかぜ、28年度は限定的にB型肝炎の助成を開始した。インフルエンザワクチン接種の

しかしながら流行期には学年・学級閉鎖に児童生徒、学校が翻弄される。学年・学級閉鎖を減少すべく、また、重症化を防ぐための助成を求める。

助成は県内13市町が実施しているが、本市はまだ実施していない。実施するにあたり対象年齢や助成金額、回数はどうするか等の検討課題があるが、市民や医療機関からも助

成の要望を受けている。子育て世代の経済的負担の軽減を図り、任んでよかったと思えるまちづくりを目指して取り組む。

ほかに・・・
問 特殊詐欺撃退機の貸し出し促進を。
答 特殊詐欺被害未然防止の強化月間を設けて利用を促す。

高橋芳市議員



問 市街化調整区域の土地活用について

答 住宅建築等の新たな開発行為が認められない

問 駅から徒歩10分、また、自転車です、10分程度で通勤や通学が可能な土地が市街化調整区域内に存在している。これらの地域では、分家住宅や都市計画法第34条14号の住居要件により、隣接の大字に15年以上の居住者は住宅建築が認め

られている。市内での建築実績はどうか。

答 市長 平成17年4月に制定された新たな基準により15年以上の居住実績があれば住宅建築が可能となる改正が

され、住宅建築の実績は平成18年から現在までに101件。新たな開発行為が認められないため、平成27年3月から都市計

画法第34条11号に基づき10地区を区域指定し、住宅建築等の新たな開発行為に係る基準の緩和を図っている。

問 市街化調整区域の耕作放棄農地に対して農地として再利用されるよう指導しているのか。

答 産業振興部長 耕作放棄農地について



雑草が生い繁る耕作放棄農地

小谷野晴夫議員

次期の市長選にも挑戦を

多くの皆さんと意見交換をし決定する



問 広瀬市長は、平成18年8月6日に下野市長に就任され、早いもので11年4カ月を迎える。平成26年の市長選において、「やさしさ・微笑み・思いやり第3章」として下野市の発展をさらにステップアップし、住みよさ県内ナンバー・ワ

ンを目指し、6項目の約束をされたが、3期目の市政運営をどのように評価しているのか。

の受け手として感じとる総評であるものと考えている。

答 市長 多くの皆様と意見を交換させていた上で決めさせていただく。

答 市長 私は激動する社会経済情勢や市民ニーズをしっかりと把握し、政策の一つ一つを、目的を見据えて実施してきた。評価については、生活者である市民一人一人が、行政サービス

問 3年前の公約は、かなり実現・推進できていると評価している。今後先頭に立ち取り組むべく、平成30年7月の市長選にも候補として手を挙げていただきたいと思うが。



質問に答弁する広瀬市長

大島昌弘議員

学校統廃合後の施設の活用について

地域の拠点となるよう利活用する



問 現在、少子化による児童生徒の減少により、全国では毎年一年間に480校あまりが廃校になっている現状であり、本市においても学校跡地の利活用が問題になっている。市の基本的な方針を伺う。

答 市長 平成29年3月に策定した下野市公共施設等総合管理計画では、学校教育施設についても利活用する方針となっている。①医療に恵まれた市の環境を生か

し、医療関係専門学校を誘致することは有効な方策であると考えている。②農業を活用した6次産業化の取り組みは販売促進につながる。地域雇用の創出等も期待されると考える。③福祉施設として活用することは高齢者や障害のある方々の自立支援や地域との交流等に効果があると考えられる。

市内の公共施設マネジメント推進委員会等で検討を進めたい。



義務教育学校として南河内中学校に統合される吉田東小学校

ほかにも・・・

問 市民農園についての考え方を伺う。

答 新たな市民農園整備に向けて検討していく。

問 市民協働のまちづくりへの人材の登用について。

答 学識経験者など市民の市政運営参加を進める。

また、①市の特性を生か

磯辺香代 議員



問 産後うつチェック後の「ケア事業」が必要

答 産婦の状況に応じたケア実施を検討する

問 本年度から産後1ヵ月健診での産後うつチェックが実施されている。実施後の状況を伺う。また、うつ傾向の方に對しどのようなサポートをしているのか。

答 市長 4月から9月までのエジンバラ産後うつ病質問票（E

PDS）チェック実施者は187名。その内うつ可能性産婦は28名で、15%だった。検査委託医療機関から報告を受けた際には、子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーター（保健師、助産師）を中心に支援方針を決定し、電話相談や家庭訪問を実施し、必要に応じ精神科医の紹介も

問 相談と既存の医療や子育て情報の紹介だけでは乗り切れない家庭への新たな産後サポート事業が必要だ。

答 市長 実施するサービスの種類、医療機関との連携、自己負

担額の設定が課題だが、産後の母子に対する心身のケア、育児のサポートは必要だと認識している。宿泊型、デイサービス型、アウトリーチ（訪問）型等の産後ケアが実施できるよう検討する。



村尾光子 議員



問 会計年度任用職員制度導入にどう対応するか

答 定員適正化計画を見直し、31年度に条例等を制定

問 法改正により会計年度任用職員が規定され、平成32年度から導入される。①会計年度任用職員に移すべき職種及びその臨時職員・非常勤職員は何人か。②導入に向けた準備はどう進めるのか。③定員適正化計画見直しは必要ないか。

答 市長 ①本市の臨時職員・非常勤職員の総数は、現在約320名で、臨時的任用が常態化している職種は保育士、放課後児童支援員、学校支援員等である。特別職非常勤職員を除く大多数が、新制度の会計年度任用職員に移行する。②国の導入に向けたマニュアルでは平成30年度に

答 臨時・非常勤職員の任用根拠、勤務形態の調査、31年度に条例や規則を制定する案が示されている。これに沿って32年4月施行に向けて準備する。③今年度は第2次定員適正化計画の中間年度に当た

る。平成32年度に373名とした数値目標を検証し、新たな行政需要や持続可能な行政運営を担う体制に必要な職員数を精査し、今年度中に見直す。

ほかにも...

問 道路破損等情報収集システム導入の検討結果は。

答 1月からインフラ通報フォームの運用を開始。



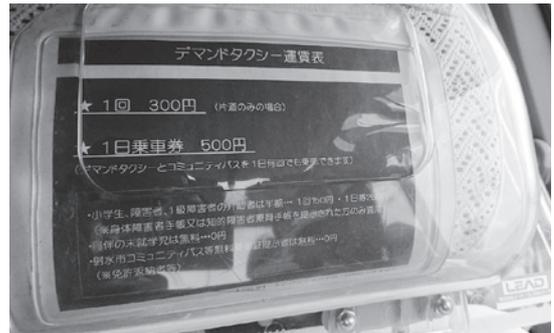
臨時的任用が常態化している放課後児童支援員

地域公共交通について^{いみず} (射水市、鹿沼市)

射水市は平成17年に近隣5市町が合併し、面積109.43km²、人口9万3717人、高齢化率は29.1%に達している。鹿沼市は18年に旧栗野町と合併し、面積490.64km²、人口9万7154人、高齢化率は27.2%である。

両市とも市街地と小集落が散在する地域のそれぞれに応じた方法で地域公共交通網を整備しており、それらの年間経費は、射水市においては委託費として2億3千万円、鹿沼市においては補助金として1億6千万円に上る。

射水市ではパターンダイヤ（一定の間隔で周期的に運行されるダイヤ）やバス停の間隔、運賃設定など利用者に対し細やかな配慮がなされていた。また、デマンドタクシーについては、コミュニティバスの利用者数が少ない路線廃止の代替として、試験的導入を経て運行に至っている。移行作業を慎重に進めた結果、冬期間のみコミュニティバスを運行する、事前登録は必要なく電話予約のみで利用できる、といった利便性を維持するための柔軟な取り組みがなされていた。



射水市デマンドタクシー：予約が入ると車体にステッカーを貼り通常業務からデマンド運行に切り替える。車内にデマンド料金が表示されている。

鹿沼市では、公共交通網の維持を目的として、廃止が検討されていた路線バスをコミュニティバスに切り替えて運行を始めたため、必然的に採算性の低い路線が多いと思われる。しかし、射水市と同様に利用者の少ない地区を10人～15人乗りの予約バスに移行するなど、利便性を損なわずに市の財政負担軽減を図る試みがなされている。そのような中、29年8月から運転免許証自主返納者に対し終身無料券を配布するといった、時代に即した先進的な取り組みを行っている。

両市のような取り組みには多額の予算が伴うため、慎重な計画が求められるが、本市においても、高齢化率の上昇や運転免許証自主返納者の増加が予測されることから、デマンド交通に限ることなく、定時運行するコミュニティバスとの併用も含めた地域公共交通のあり方について検討されることを望む。

定住促進施策について (かほく市)



かほく市では「定住促進の取り組み」について視察。かほく市の定住促進策は20を超える。注目されるのは新築に最大200万円の補助金を出す「若者マイホーム取得奨励金制度」であるが、新婚世帯には、賃貸住宅への入居でも補助金が支給される。

また、子ども医療費は18歳まで助成され、保育施設も充実し、病児保育・延長保育・休日保育に対応している。さらに、子育ての「支援」と「相談」を同時に行う施設「かほく市子どもセンター おひさま」が開設され、経済的支援のみならず「子育て」そのものに対する支援体制が整備されている。

定住促進策や少子化対策は、地域社会の存続に直結する最重要課題である。かほく市では、おもに子育て世帯の中堅職員からなる「定住促進プロジェクトチーム」を編成し、庁内横断的な取り組みや、若者のライフステージを念頭にきめ細やかに支援をするストーリー性ある施策を展開し、定住促進に成果を上げている。こうした定住促進の取り組みを進めた結果、東洋経済新報社の全国住みよさランキングでトップクラスに位置するまでになっている。

歴史的風致維持向上計画について（村上市）

村上市では、歴史まちづくり法の一つである「歴史的風致形成建造物指定制度」を活用し、建造物所有者の理解や協力を得ながら歴史的建造物の保存が進められている。市街で外観修理等を実施した建物を視察し、建造物の老朽化による破損や劣化を修理・補修には多額の経費が伴うことから、住民の理解と協力が不可欠な事業であることを実感した。

下野市も平成29、30年度で歴史的風致維持向上計画を策定するが、①50年以上の歴史がある活動であること ②外から見える活動、雰囲気を感じられる活動であること ③住民主体の活動であること ④50年以上の歴史を有する建造物、など計画における認定条件となる事例を学んだ。

今後、平成28年11月に策定された「下野市歴史文化基本構想」を基軸に下野市の文化財及び地域・伝統行事等の保存継承に努め、専門部局との調整を図りながら、本市が抱える課題や調査項目の洗い出しにより下野市歴史的風致維持向上計画の策定に向けて努力されることを望む。



歴史的景観が維持された村上市内の路地

食の循環によるまちづくりと農業振興について（新発田市）

新発田市では、「産業の発展」「健康及び生きがいの増進」「教育及び伝承」「環境の保全」「観光及び交流」の5つの基本的施策により食の循環によるまちづくりを推進している。多くの分野が関係するため、行政担当者間の連携や多くの市民の参画が必要な事業であるが、大量消費・暖衣飽食の現代において食の循環による営みを再生する試みは、食品の大量廃棄などに対する解決策のひとつとして作用するほか、自然に対する感謝の気持ちや生命の尊さを学ぶことができる取り組みであった。

また、同市では新潟県内1位の出荷量を誇るアスパラガスのブランド化にも積極的に取り組んでいるが、市民への認知度を高めるためアスパラガスキャンペーンを実施するなど、アスパラガスの消費拡大に向けた施策が展開されており、地産地消を推進する上での参考となる点が数多くあった。

下野市においては、道の駅しもつけ、ゆうがおパークをはじめ各地区に農産物直売所等の販売網を有しており、これらを活かした広報活動の充実により、しもつけブランドや農産物等のさらなる販売促進に期待したい。



ブランド化された新発田市産のアスパラガス

小中一貫教育について（^{いわた}磐田市）

磐田市では、平成21年度に調査研究を開始し、一部中学校区での試験的導入を経て28年度から市内全中学校区（中学校10校、小学校22校）で小中一貫教育を実施している。

特徴的な取り組みとしては、小学1年生から英語の授業ができる「磐田市版英語モデルカリキュラム」の作成や、ALT18名を配置し会話力を養うための「SPEAKプロジェクト」の実施、修学旅行先で出会った外国人に英語で磐田市の紹介をする「修学旅行英会話」活動などがあり、特に英語教育に力を入れている。



小中一貫教育導入の経緯について説明を受けた

また、小中一貫教育のコーディネーター機能を充実させるため、各中学校区に市単独の費用で教職員を1名ずつ配置しており、多くの地域住民がボランティア活動を通じて児童生徒の学習に積極的に関わっているとのことであった。

また、小中一貫教育のコーディネーター機能を充実させるため、各中学校区に市単独の費用で教職員を1名ずつ配置しており、多くの地域住民がボランティア活動を通じて児童生徒の学習に積極的に関わっているとのことであった。

下野市においても、平成31年度から市内全中学校区で小中一貫教育が実施される。磐田市のような成果を得るためにも、実施に当たっては学校現場に対し必要なサポートをすることが重要であると感じた。

障がい者新規就労500人サポート事業について（掛川市）

掛川市では、平成25年度から28年度までに、就労を希望する障がい者を新規に500人就労させることを目指す市独自の障がい者就労推進事業に取り組んできた。具体的には、5名の職員から構成される「障がい者就労500人サポート室」を設置し、採用前の就労相談や就職活動のためのスキル習得のサポート、また、面接時のハローワークや企業等への同行支援を行う。さらには、採用後も勤務先を定期的に訪問し状況を確認、継続に不安があれば相談できる体制を整えていた。

このように常に障がい者に寄り添った支援を行なった結果、同市における4年間の障がい者就労実績は631人となった。就労の範囲は、一般就労のほか福祉的就労も含まれるが、28年度においては福祉的就労者数が53人であるのに対し、一般就労者数が169人と大きく上回っている。

サポート推進室は、仕事の紹介や斡旋は行っておらず、職種や通勤エリア、勤務日数などは本人の希望や決断に任せている。あくまでも本人が主体であり、推進室はそのサポートをするという姿勢であるが、多くの方がサポート推進室に相談に来庁することであり、相互の信頼関係がしっかりと築かれていることがうかがえた。

本市としても、障害のある人の自立に向けた第一歩として、「働きたい」という希望をかなえるための様々な事業を推進していく必要性を強く感じた視察であった。本市でもこのようなサポート体制の構築が望まれる。



掛川市役所において障がい者就労施策について学ぶ

かんぴょう生産者と懇談しました

経済建設常任委員会

11月17日(金)に市役所4階の議会特別会議室で、「かんぴょう生産代表者等と経済建設常任委員会との懇談会」を開きました。

参加したのはJAかんぴょう部会2人、JA職員2人とかんぴょうマイスターや栃木県農業士の3人。他に経済建設常任委員会の6人、議会議務局長の計14人です。

最初に、それぞれの自己紹介。次に、事務局から地域ブランド支援、かんぴょう産地支援事業、産地消推進事業など、今年度のかんぴょうに係る事業についての説明がありました。

続いて、自由な懇談となりました。

意見交換の内容

◆学校給食

・小中学校の給食に5100人分、153万円の予算計上をしていただき(生徒1人あたり、年間300円)かんぴょうを含む下野市産の野菜購入の補助が行われている。子ども頃に食べたものは一生食べるようになるということで、もっと食べてもらいたい。予算を増やしてほしい。

◆機械の問題

・生産メーカーが少なく新しいものを買うのが難しい。注文しても1年間待つ。
・中古を譲ってもらいたい自分で直して使っている。機械の性能もあまり昔と変わらず、使い勝手がよくなっていない。
・小山北桜高校、小山高等専門学校、宇都宮大学農学部に協力してもらってはどうか。

◆作業が大変、朝が早い

・1つの農家で夕顔を栽培し、かんぴょうに加工までするのは大変。栽培する、加工するなどを分業にすることも考え方は。

・朝は早い、昼寝をして体力を蓄えている。発想を切り替えることも必要。

・長時間の重労働だが、短期で収益があがるので経営的にはかんぴょう生産はいいと思う。

◆かんぴょうの加工品

・甘辛く煮つけた加工品は喜ばれる。力を入れてはどうか。
・かんぴょうサミットの試食会で食べた白かんぴょう(塩みりんで味付け)はおいしかった。従来の甘辛のものと組み合わせ、「紅白かんぴょう」としても面白い。

としても面白い。

◆後継者・労働力問題

・後継者がなかなか育たない。
・求人しても人が集まらない。
・障がいのある方に作業をお願いするのはどうか(農福連携)

終わりに

現在、市議会では「かんぴょう条例」の議員提案を検討中です。市、市民に対してかんぴょうへの理解を深めてもらい消費拡大につなげていくことが目的です。

今後もこのような会議を続けていき、様々な意見を出し合い、前向きに考えていくことが重要だ、と参加者の意見が一致して、閉会となりました。



懇談の様子

議会の動き

11月

- 7日 栃木県央6市議会議長会会議
- 7～8日 教育福祉常任委員会行政視察(静岡県磐田市・掛川市)～小中一貫教育について・障がい者新規就労500人サポート事業について～
- 15～16日 全国市議会議長会研究フォーラム(姫路市)
- 17日 教育福祉常任委員会
経済建設常任委員会・かんぴょう生産者代表者等との懇談会
- 20日 総務常任委員会
- 21日 教育福祉常任委員会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会
- 29日～12月13日 第4回定例会
- 30日 正副委員長会議

12月

- 1日 議場コンサート
- 11日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 13日 議会だより編集委員会
- 20日 石橋地区消防組合議会定例会
- 27日 議会だより編集委員会

1月

- 18日 議会だより編集委員会
- 22日 愛知県岡崎市議会視察来庁～選挙の投票環境の向上策について～
- 25日 議会だより編集委員会
- 29日 鹿沼市議会視察来庁～庁舎建設について～



議会活性化特別委員会最終報告(12月13日・本会議)

会派制を改選後速やかに導入

・政務活動費は今任期導入せず今後もさらに研究
・議会報告会は市民との意見交換の場となる報告会も開催

議会活性化特別委員会は、平成26年第3回定例会において設置が可決され、約3年間にわたり下野市議会改革を進めるための調査研究が行われ、平成29年10月15日までに計26回の委員会が開催されました。

平成27年第2回及び平成28年第1回の定例会において中間報告が行われ、その後も引き続き諮問事項の検討を続けてまいりました。

会派制について

会派は、市政に関する主張を同じくし、政策立案等を目的として結成されるグループです。会派制の導入については、「次期改選後に導入する」と中間報告を行い、その後、「下野市議会会派及び会派代表者会議規程」を作成し、改選後速やかに導入を行うものとなりました。

また、議会基本条例の進捗状況について、議会基本条例第6条の議会報告会は、過去3回開催した時点で一般参加者が少なく開催方法を検討する必要があるとの意見があり、市民との意見交換の場となる報告会を開催するものとなりました。

そのほか、「新庁舎建設に伴う議場に関する調査」や「議員研修のあり方」についても検討が行われ、調査結果が議会運営に反映されているところです。

政務活動費について

政務活動費については、中間報告では、議員個人への交付として平成29年度からの導入に向け引き続き条例等の検討を行う方向性が示されました。その後、会派制導入に伴う議会運営に鑑み、また政務活動費の用途の透明性などさまざまな観点から更なる議論を重ねた結果、今後もさらに研究を進める必要性があるため、今任期中の政務活動費の導入は行わないものとなりました。



報告をする小谷野委員長

下野市議会だより No. 47

平成30年2月15日発行 年4回発行

平成30年 第1回定例会 2月22日(木) 議場にて開会予定

詳しい日程は決定次第、市ホームページ

下野市 市議会

検索

でお知らせいたします。

編集後記

今年度は、議会として初めて実施したことがいくつかありました。市・教育委員会と共催した中学生議会、小学生による議会だより題字、そして文化協会との共催による議場コンサートです。これらは市民の皆さんに議会に親しみを抱いていただける一助となったでしょうか。

中学生議会では満員の傍聴席に座り、入りするには窮屈であることを実感しました。議席と机の間も狭く、席を立つのに苦労している議員もいます。建設費縮減に苦心した結果ですが、設計段階では気づかず、でき上がってみないと分からないこともあると痛感しました。私たち議員は、こうした見えない部分もしっかりと推測・洞察できるように訓練しなければと思った次第です。

今後とも、市民と議会をつなぐツールとして、議会だよりの充実に努めてまいります。

(村尾光子)

議会だより編集委員会

村尾 光子 中村 節子
出口 芳伸 柳田 柳太郎
高橋 芳市 若林 稔

次号(No.48)は5月15日に発行します

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて下野市議会だよりの音訳CDを貸し出しています。

連絡先：(43) 1236

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約12.1円です。

今号の題字：吉田東小学校 6年 海老原耶々さん

下野市議会だより No. 47

T 3 2 9 1 0 4 9 2 栃木県下野市笹原26番地
電話 0 2 8 5 (32) 8 9 1 4 / FAX 0 2 8 5 (32) 8 6 1 4